CKD 患者における HRQOL の変遷と腎・生命予後との関連

健康関連 QOL (Health-related Quality of Life : HRQOL) とは、患者が生活の身体的、精神的、社会的領域における機能や状態を報告する方法の一つである。近年では慢性疾患でも HRQOL による評価が重要視されてきており、特に末期腎不全 (ESRD) 患者の HRQOL 評価においては、腎疾患特異的質問項目を含んだ KDQOL という質問票が存在する。ESRD 患者では、HRQOL 低値が死亡の増加と関連するとの報告がある。

一方、慢性腎臓病 (CKD) 患者における HRQOL は、ESRD 患者ほど重要視されてこなかったが、近年 CKD 患者における HRQOL 評価が注目されており、「あらゆる病期の CKD 患者とその家族の HRQOL を改善する kidney supportive care は、全ての腎臓専門医の務めである」という提言がなされた。病期が進行するにつれて、CKD 患者は疲労、筋けいれんなどの尿毒症症状の負担が増加する。これらの症状は、社会的関係性を損ない、経済的な不安定さを生じ、幸福感を低下させることによって、HRQOL を損なう可能性がある。しかし、CKD 患者の各病期における HRQOL に関する大規模な研究はあまり行われておらず、ほとんどは横断的な研究のため、HRQOL の経時的推移と生命予後・腎予後との関係は依然として不明である。CKD 患者の HRQOL を低下させるリスク因子に関しても共通の見解が得られていない。また、HRQOL の群間差の評価には、最小重要差 (Minimally Important Difference : MID) と呼ばれる臨床的に意味のある指標が用いられるが、これは疾患や病期によって異なる可能性がある。CKD の領域に関して、妥当と考えられる MID を示した研究は少ない。

本研究は、日本国内の多施設 CKD 長期コホート研究データを用いて、これらの不明点に答え、上記課題を解決するため解析を行う予定である。

参考文献：

Donna L Mapes, Antonio Alberto Lopes, et al. Health-related quality of life as a predictor of mortality and hospitalization: the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS) *Kidney International* 2003 Jul;64(1):339-49.

Mark A Brown, Barnaby D Hole, et al. Kidney supportive care: every nephrologist's business. *Kidney International* 2025 Apr;107(4):582-586.